

とんとん峠

30号
(2011.08)

二〇一三年に予定されている「国際的な水銀汚染の防止のための条約（水銀条約）」を「水俣条約」とすることについての説明会が六月二十六日に実施されました。本号の特集ではその説明会の様子を紹介しています。

国水研は、水俣病に関しての総合的な調査、研究、そして国内外の情報の収集、整理及び提供を行うこととこれらに関連する研修の実施を目的として環境省の機関として熊本県水俣市に設置されています。

国水研は、わが国の公害の原点といえる水俣病とその原因となったメチル水銀に関する総合的な調査・研究、情報の収集・整理・研究成果や情報の提供を行うことにより、国内外の公害の再発を防止し、被害地域の福祉に貢献することを目指しています。



情報センターの展示が新しくなりました。

目次

- 特集
『水銀条約について考える会に参加して』
- 国水研の動き
(平成二十二年三月～平成二十三年七月)
- それいけ！研究者！
- 国水研からのお知らせ
- 情報センター通信
- 編集後記
- アクセスマップ

●特集

『水銀条約について』

考える会に参加して

国際・総合研究部

坂本 峰至

日本における水銀利用はここ四十年で大幅に低下してきました。しかし、世界的にみると、金採掘や化学工業用、電池、歯科用アマルガム等に年間四〇〇トン近くが使われています。

国連環境計画（UNEP）は二〇〇一年から水銀汚染対策のための活動を開始し、二〇〇九年のUNEP管理理事会で、水銀供給の削減・水銀使用の削減・水銀廃棄物管理・環境への排出削減等、国際的水銀の規制に関する条約を制定するという合意が得られました。そこで政府間交渉委員会（I

NC）を設立し五回にわたっての話し合いの後、二〇一三年に日本での条約の採択及び署名を目指しています。

二〇一一年六月二十六日、環境省は、「水銀条約について考える会」を水俣市で開催し、水銀条約を巡る国際動向や日本の対応について水俣市民へ説明を行いました。この中で環境省は、条約づくりに積極的に貢献し、また、条約を「水俣条約」と名付け（条約には慣例として外交会議の開催地名がつきます）、水銀汚染の防止への取組を世界に誓いたいとの方針について説明を行いました。これに対し、熊本県や水俣市からは、外交会議の水俣への招致が実現すれば水俣病の教訓を世界に発信する良い機会となり、環境都市としてのまちづくりに貢献できるといふ考えを示しました。

一方、水俣市民側からは、水俣湾の

浚渫された水銀に対する不安や、不知火海沿岸住民の健康調査等の必要性が指摘され、これらの問題が残っている中で、「水銀条約」を「水俣条約」とすることで、水俣病問題が解決されたかのような印象を与えるのではなにかという懸念の表明がありました。これに対し、環境省や県からは、水俣ではすべての問題が解決されたという立場ではなく、今後とも健康調査手法の確立や今後の引き続いての被害者への補償、医療福祉の充実を目指していくことが説明されました。

地球規模での水銀規制や、そのため条約づくりにには誰も異論はないと思います。但し、今回の説明会に参加して、「水俣条約」の実現に向けては、様々な問題について、継続した話し合いを行う必要があると感じました。

国水研の動き

（平成二十三年三月～平成二十三年七月）

- 三月三日 国水研セミナー
- 三月二十五日 JICA研修（エジプト・シリア・イエメン）
- 三月二十六日 第二十二回健康セミナー
- 四月一日 歴史資料等保有施設指定
- 四月二日 第三回リハビリテーション技術講習会
- 四月十一日 平成二十二年度介護予防等在宅支援のための地域社会構築推進事業報告会
- 四月十五日 国水研機関評価委員会
- 五月一日 水俣病犠牲者慰霊式
- 五月十四日 松本 龍環境大臣ほか来所
- 六月二日 JICA研修（エジプト・トルコ・ベトナム・セルビア）
- 六月十七日 国水研セミナー
- 六月二十三日 国水研セミナー
- 六月二十五日 第二十三回健康セミナー
- 七月一日 国水研セミナー

それいけ！研究者！

新任研究者紹介



基礎研究部生理室

柳澤 利枝

三月一日付で独立行政法人国立環境研究所（茨城県つくば市）より赴任してまいりました。これまで、同研究所において、環境中に存在する様々な化学物質が、免疫機能、特にアレルギー性疾患に対して与える影響について研究を行ってきました。研究の背景について少し説明します。近年、アレルギー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症などのアレルギー性疾患が、乳幼児や小児を中心に急増しているといわれています。

ですが、その要因としては、主に遺伝的な変化に起因するものと、環境の変化に起因するものの二つが挙げられます。しかし、遺伝子が多くの人に對して、同時期に同じような変異をきたすとは考えにくく、食環境や居住環境、衛生環境などの急激な変化による影響に、その原因を求め

るのがより理解しやすいだろうというの一般的な考え方となっています。このような考えに立ち、環境中の化学物質がアレルギー性疾患に及ぼす影響について、実験動物を用いて検討した結果、大都市における大気汚染物質の主要な成分であるディーゼル排気微粒子がアレルギー性喘息を増悪することや、プラスチックの可塑剤として広く用いられているフタル酸ジエチルヘキシルという物質が、アレルギー性皮

膚炎の症状を悪化させることなどを明らかにしてきました。私達を取り巻く環境中には、膨大な化学物質が存在しており、その中には、先に述べましたように、体内に取り込まれることで生理活性を發揮する物質も含まれており、免疫系のみならず、人体に様々な影響を及ぼす可能性が指摘されています。水銀も環境中に存在する化学物質の一つですが、その生体影響としては、水俣病におけるメチル水銀の影響に見られるように、神経毒性を有することが一般的に知られています。一方、水銀は、免疫機能にも作用することが報告されていますが、水銀の免疫系への毒性評価は、無機水銀を対象としたものが主で、メチル水銀に関する報告はあまり多くありません。しかし、メチル水銀の免疫系への影響を示唆する疫学調査もあり、免疫機能への影響を介した健康影響が懸念されています。そこで、国水研では、メチル水銀を対象として、免疫系―神経系の相互作用を念頭に置き、免疫機能への影響について検討する予定です。

これまで、様々な化学物質を対象として評価を行ってきましたが、水銀を扱うのは初めての経験であり、まだまだ勉強することばかりですが、水銀の健康影響に関する新しい知見が得られることを、自らも期待しているところです。

お知らせ

◎ 国水研 一般公開!

今年も国水研の一般公開を行います。楽しみながら科学を学べる企画が盛りだくさんです。不知火海を一瞥できる美しい風景も眺められます。多くの皆様のお越しをお待ちしています。

日時 八月十日(土)・二十一日(日)
十時～十五時

内容

- ①「ものぐさ」でハブリ体験
- ②顕微鏡でミクロの世界を体験しよう
- ③身近な生物を知ろう
- ④身のまわりの水銀
- ⑤ひかりで見える脳のはたらきなど

* 食品がもたらせるクイズあり
問い合わせ

国立水俣病総合研究センター

TEL 03-3111

★ 第二十三回健康セミナーを開催しました♪

六月二十五日(土)に情報センターで健康セミナーを開催しました。今回は、水俣市北薬剤師会等の協力により「薬を正しく安全に」というテーマで薬剤師会会長の吉富博樹開局薬剤師と国保水俣市立総合医療センター薬局長の森るり子病院薬剤師にそれぞれの立場からご講演いただきました。薬の飲み方やジェネリック医薬品についてなど、とても解りやすく話してくださいました。

情報センター通信

情報センターの展示が変わりました。水俣市明神町の情報センターでは、水俣病の医学や環境中の水銀などについての展示を行っています。開館十年目を迎え、来館者の皆さんにもっと楽しんで学んでいただけるよう、この春、展示の一部を新しくしました。

水銀は体温計や病院の血圧計などで使われていましたが、最近ではデジタル機器が増え、水銀を目にする機会が少なくなりました。水銀には化学的におもしろい性質があります。例えば、水銀は金属でありながら常温で液体です。そして重い!水銀の比重は鉄の一・七倍もあるのです。鉄は水銀の上で浮いてしまいます。

展示では鉄のボルトが水銀に浮かぶ様子をご覧ください(表紙の写真)。また、水銀には金を溶かす性質があります。これを利用して、鉱山で金を取り出すために水銀を使用している国があります。しかしこれは、水銀による健康・環境被害の原因になります。展示ではこれらの国での水銀汚染の現状や、国水研などが行った調査研究などの様子を写真や映像で紹介しています。

このほか食物連鎖による魚介類のメチル水銀濃縮など、さまざまな展示があります。情報センターでは多くの方のご来館をお待ちしております。

疫学研究部 蜂谷

編集後記 本日のとんとん峠

本年度最初の「とんとん峠」をお届けしました。国水研では外来リハビリテーションを実施していますが、耐震工事後やリハビリテーションルームの改修工事のため約二年間、リハビリテーションルームでリハを実施することができませんでした。七月中旬に工事が完了し、七月下旬よりきれいになったリハビリテーションルームでのリハを再開しています。八月二十・二十一日に国水研の一般公開が行われます。新しくなったりリハビリテーションルームを是非見に来てください。

Eメール mail@nimd.go.jp

アクセスマップ

